

世界自閉症啓発デー

毎年4月2日は世界自閉症啓発デー
4月2日～8日は発達障害啓発週間です



国連が定めた「世界自閉症啓発デー」にあわせ、高槻で共に暮らす皆様に「自閉症」や「発達障害」を少しでも知っていただきたいと始めたイベントも7度目となりました。

今回は、青年期の自立と就労をテーマにした映画上映とトークを行います。

毎年多くのご参加をいただき、主催者一同深く感謝申し上げます。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

映画上映 & ミニトーク



北九州市人権啓発映画



平成 25 年度制作

<34 分：日本語字幕あり>

「映文連アワード 2014 文部科学大臣賞」

公益社団法人映像文化製作者連盟主催

一般財団法人日本視聴覚教育協会主催

「平成 26 年度優秀映像教材選奨 社会教育部門優秀作品賞」

法務省主催

「平成 26 年度人権啓発資料法務大臣表彰映像作品部門 優秀賞」

日時：2015年4月2日(木) 午後1時30分～3時30分 (開場1時)

会場：高槻市立生涯学習センター2階 多目的ホール (JR 高槻駅 阪急高槻市駅 徒歩10分)

定員：300名、入場無料、申込不要

保育：あり (詳細は裏面)

主催 高槻市・高槻市教育委員会

企画運営 世界自閉症啓発デー高槻実行委員会

手話通訳・要約筆記あり

車椅子席4席あり

他に障がい支援のご要望があればご相談下さい。



<構成団体> 知的障害者育成会 高槻手をつなぐ親の会

自閉症の人のバリアフリーを考える親の会 はぐくみ

社会福祉法人 北摂杉の子会



制作のねらい（北九州市人権啓発映画 HP より）

「違い」を認めないことによって、差別は始まるといえます。人はそれぞれ違うものなのに、違うというだけでその人を排除してしまう傾向が人間にはあります。

違いを理解し、認め合うことが大切であることはもちろん、本当にすべての人の人権が尊重される社会とは、それぞれの違いを活かすことのできる社会だといえるのではないのでしょうか。

この映画は、「目に見えにくい違い」の一つとして発達障害をとりあげています。

発達障害のある人の生きづらさや痛みを真摯に伝えとともに、「違い」が生み出すプラスのエネルギーを美しく群生するコスモスの花々と重ね、「ともに生きることの喜び」を伝えるための教材として制作いたしました。



あらすじ

特別養護老人ホーム「向陽園」の主任介護士として働く大谷ちひろは、新しく入った介護士中嶋直也に期待するが、直也は空気の読めない発言をしたり、指示が伝わらなかったり、コミュニケーションが取りづらい。ちひろはストレスを感じながらも、直也を育てるべく奮闘する。

そんな中、直也が入居者の元大学教授、乾一成を連れて外出したところ、金山川で乾が倒れて意識不明になってしまう。知らせを受けて病院に駆けつけたちひろは、パニックを起こした直也に、介護士失格だと激しく叱責する。

翌日から直也は欠勤。直也の母が退職願を持って「向陽園」を訪れ、直也がアスペルガー症候群であることを告白する。いったん退職願を受理したものの、ちひろは直也をこのまま辞めさせていいものか悩む。そして、ちひろは直也が乾を金山川に連れていった理由を聞くため、入院中の乾を訪ねたのであった・・・。

2 時 30 分～ ミニトーク「青年期の自立と就労について」

☆ 高槻市障害者就業・生活支援センター 所長 成瀬 修

☆ ジョブジョイントおおさか たかつきランチ 所長 星明 聡志

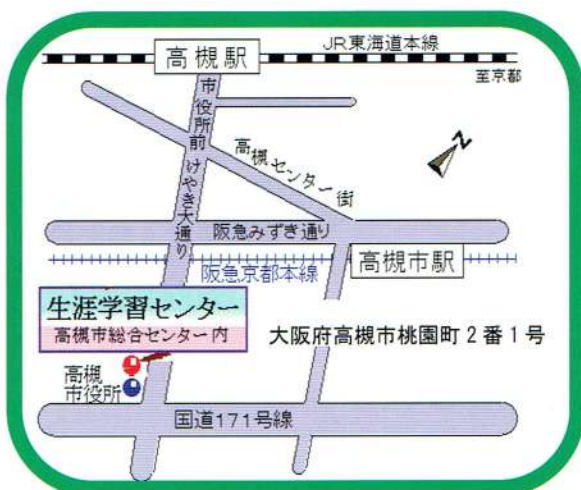
〈問合せ先〉 社会福祉法人 北摂杉の子会（担当：佐々木）

TEL:072-662-8133 FAX:072-662-8155

協賛：高槻市社会福祉協議会・一般社団法人高槻市人権まちづくり協会・高槻市教職員組合

後援：大阪自閉症協会

＜「高槻市障がい児者社会参加促進事業」委託＞



保育申し込み方法

先着10名（小学低学年まで）

受付期間：3/9～3/20

（月～金、10～17時）

*定員に達し次第締切り

保育料：おひとり500円

保育申込：NPO法人SEAN

サポート部門「とんがらし」

TEL/FAX 072-669-7411